

Ver. 3.0

型番:GRFD-TWS T12P

取扱説明書

デュアルドライバー

完全ワイヤレスイヤホン



もくじ

ページ

| | |
|------------------|----|
| 安全上の注意 | 2 |
| 使用上の注意 | 4 |
| 各部の名称 | 4 |
| 充電のしかた | 5 |
| 使いかた | 6 |
| パソコンで使う | 10 |
| オンライン会議で使う | 12 |
| お手入れ | 14 |
| 本製品の防水性能について | 14 |
| 故障かなと思ったら | 15 |
| リチウム電池のリサイクルについて | 15 |
| 商品仕様 | 16 |
| Bluetoothについて | 17 |
| 保証書・保証規定 | 18 |

- この度は デュアルドライバー完全ワイヤレスイヤホンをお買い上げいただき、誠にありがとうございます。
- この取扱説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。特に「安全上の注意」、「充電のしかた」は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになった後はいつでも見ることできる場所に保管してください。
- 保証書はこの説明書の18ページに載っています。レシートとともに保管してください。

この製品は日本国外でのアフターサービスは出来ません。

No service is available outside of Japan.

安全上の注意 必ず守ること

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して、誤った使いかたをした時に生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみ発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
(下記は絵表示の一例です。)



このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



このような絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。



警告

■絶対に分解したり、改造しない



火災・感電の原因になります。

■火の中に投入したり、加熱しない



破裂による火災・けがの原因になります。

■水につけたり、水をかけない



感電・故障の原因になります。

■本製品内蔵の電池が液漏れした場合は直ちに使用を中止する



発火・炸裂の原因になります。

■本製品内蔵の電池の液が目に入ったときは、こすらずにきれいな水で洗ったあと、直ちに医師に相談する



失明などの原因になります。

■運転中は使用しない



自動車、オートバイ、自転車などの運転中はイヤホンを使用したり、細かい操作をしたりすることは絶対にお止めください。交通事故の原因になります。

■周囲の音が聞こえないと危険な場所では使用しない



踏切や駅のホーム、車の通る道、工事現場などでは周囲の音が聞こえないと危険です。事故やけがの原因になります。

■異常・故障時は直ちに使用を中止する



液漏・発火・炸裂の原因になります。

■雷が鳴り出したら、本体やUSBケーブルに触れない




感電の原因になります。

安全上の注意 必ず守ること




注意


■ 本製品に強い衝撃や圧力を加えない

 液漏・発火・炸裂の原因になります。


■ 油煙、湯気、湿度、ほこりの多い場所で使用しない

 火災・感電・故障の原因になります。


■ 医療機器の近くで使わない

 電波が医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。


■ 心臓ペースメーカーの装着部位から22cm以上離す

 電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。


■ 航空機内で使用する場合は、客室乗務員の指示に従う

 電波の影響で誤動作の原因となるおそれがあります。


■ 大音量で長時間連続使用しない

 聴力障害などの原因になることがあります。


■ 使用開始時はボリュームを下げてから装着する

 突然大きな音が出て、耳をいためる原因になります。


■ 製品仕様の充電時間を過ぎても充電が完了しない場合は、充電を中止する

 液漏・発火・炸裂の原因になります。


■ 直射日光が強いところ、炎天下の車内での使用や保管をしない

 破損・発熱の原因になります。


■ 本製品を温度の高くなるストーブ・コンロなどの近くに置かない

 液漏・本体の変形の原因、寿命が短くなることがあります。


■ 小さなお子様の手の届かないところに保管する

 誤飲など思わぬ事故をまねくことがあります。


■ USBケーブルを抜くときはケーブルを持たずに必ずプラグを持って引き抜く

 ケーブルを持って抜くと断線や故障の原因になります。


■ 充電中は、本製品および充電ケーブルの周りに物を置かない

 感電・ショートの原因になります。

■ 充電ケースを他の製品に使用しない、イヤホン以外のものを入れない

 感電・火災・ショート・故障の原因になります。

■ イヤホンおよび充電ケースにキャッシュカードなどの磁気カードを近づけない

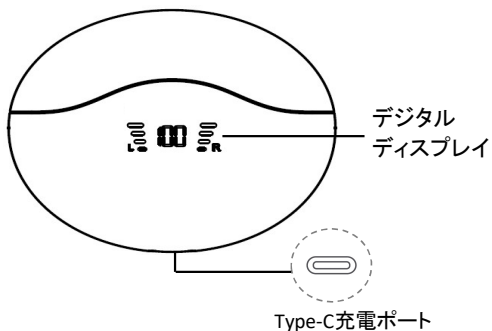
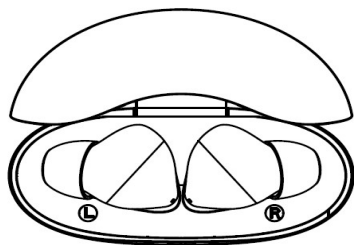
 本製品に内蔵された磁石の影響により、カード情報が損なわれる可能性があります。

使用上の注意

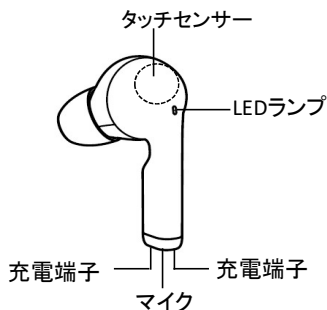
- 本製品の使用に関して、お使いの機器のメモリー内容が消去されても保証は一切いたしません。あらかじめご了承ください。
- 補聴器、ペースメーカー、その他の医療用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器に影響を与えるおそれがあります。誤動作による故障や事故の原因になりますので、本製品を近くでは使用しないでください。
- 交通機関や公共の場所では音量に注意し、周りの方の迷惑にならないようにしてください。
- 本製品の使用中に気分が悪くなった場合は、すぐに使用を中止してください。
- 本書に記載されている以外でのご使用にて損害が発生した場合は、弊社は一切の責任を負いません。
- 本製品を使用せず、長期間保管した場合、バッテリー性能は低下します。何回か充電を繰り返すと回復します。
- 本製品は国内専用です。海外では国によって電波使用制限があるため、本製品を使用した場合、罰せられることがあります。

各部の名称

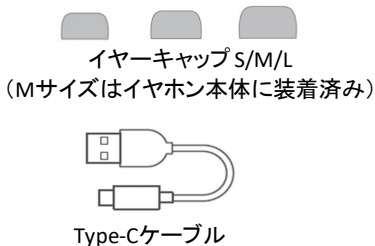
充電ケース



イヤホン本体



付属品



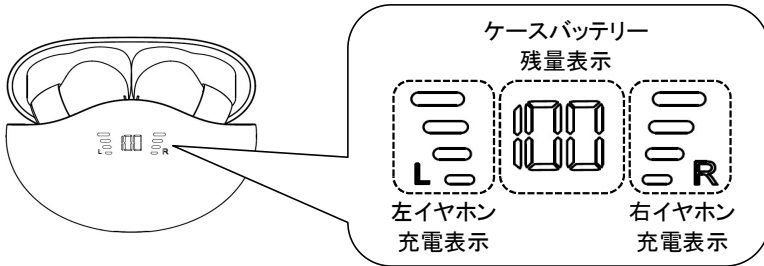
充電のしかた

初めてお使いになる前に本製品を満充電してからご使用ください。

イヤホンの充電

イヤホンをケースに収納すると充電を開始します。充電中はLとRの緑のインジケータが点滅します。満充電されるとインジケータの点滅が消灯します。

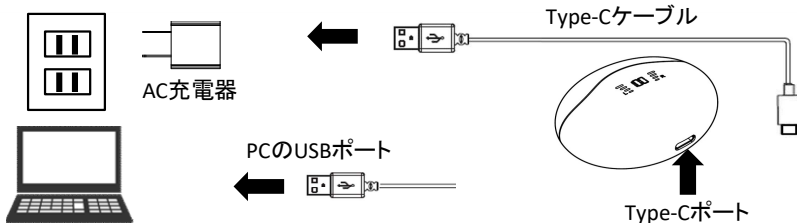
- 充電中はケースのフタを閉めてください。
- イヤホンのバッテリー容量が低下すると1分おきに信号音が聞こえて、LEDランプが赤に点滅しますので、充電してください。
- ケースおよびイヤホンの充電端子(P.4)が汚れていると、充電できない場合があります。充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。
- 汚れがひどい場合は、アルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。



ケースの充電

USB規格に適合したパソコンに付いているUSBポートやUSBポートのあるAC充電器と付属のType-Cケーブルを使用して充電してください。

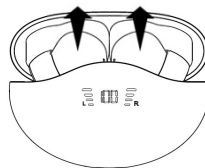
充電中はケースのデジタルディスプレイの数値(%)が点滅します。満充電されると数値が100(%)になって、点滅が点灯に変わります。ケーブルを外すとデジタルディスプレイの数値が消灯します。充電後は必ずケーブルを外してください。



使いかた

イヤホンを取り出す

イヤホンはケースにマグネットで固定されています。
イヤホンを上に引き出してください。

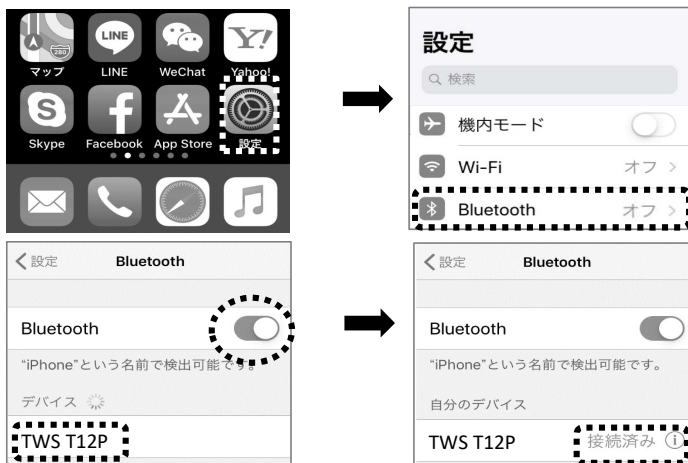


ペアリング

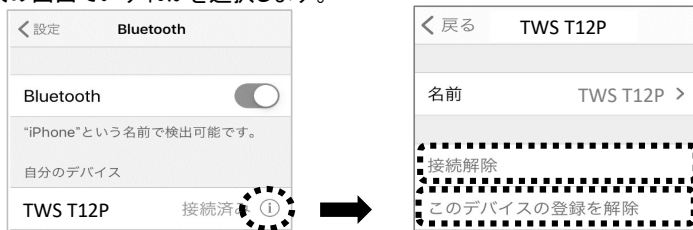
1. ケースから左右のイヤホンを取り出すと、イヤホン同士が自動的にペアリングされます。
2. スマートフォンの設定から、Bluetoothを立ち上げます。
3. 検索されたデバイスの一覧から「TWS T12P」をタップします。接続すると「Connected」（コネクテッド）と音声聞こえて、イヤホンのLEDランプが消えます。

- Android端末でデバイス一覧に「TWS T12P」がない場合は、スキャンをタップしてください。
- 接続がうまくいかなかった場合は、スマートフォンのBluetooth接続を解除して、最初からやり直してください。

iPhoneでの参考例



- Bluetooth接続を解除したり、登録を削除したい場合は、デバイス名の右をタップして次の画面でいずれかを選択します。



使いかた

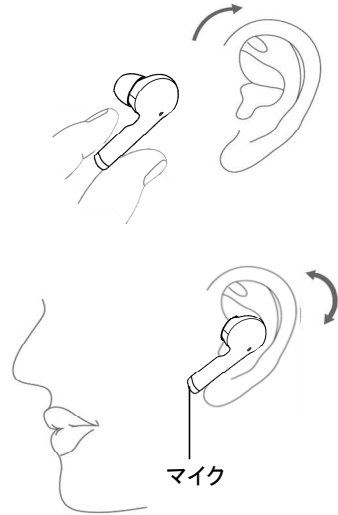
ペアリング(続き)

4. 使用後はイヤホンをケースに戻してフタを閉じてください。Bluetoothがオフになり、自動的に充電を開始します。イヤホンの電源はオフになります。
- イヤホンをケースに戻さずに約5分間使用しないと、自動的に電源オフになります。
 - 2回目以降のご使用では、イヤホンをケースから取り出すと、最後に接続したBluetoothデバイスと自動的にペアリングされます。

イヤホンの装着

耳のくぼみにあわせて軽く回して装着します。

- 頭を軽く振ってみて、しっかりと装着されたかを確認してください。しっかり装着しないと耳から外れて脱落や紛失するおそれがありますので、ご注意ください。
- 左右を間違えないように装着してください。
- マイクがある部分を口元に向けてください。
- イヤークリップのサイズが合わない場合は、付属の他のサイズに交換してください。



片耳で使う

1. ケースから左右いずれかのイヤホンを取り出します。
 2. スマートフォンの設定からBluetoothを立ち上げます。
 3. 検索されたデバイスから、「TWS T12P」をタップしてください。
- 初めてお使いになるのが片耳の場合、Bluetoothの接続に時間がかかる場合があります。
 - 両耳でペアリング、Bluetooth接続をした後に片耳で使用する場合は、2～3の設定は必要ありません。
 - 左右いずれかのイヤホンを片側使用中に、もう一方のイヤホンをケースから取り出すと自動的にペアリングされ、両方から音が聞こえるようになります。
 - 2つのイヤホンが同じBluetoothの通信範囲内にあれば、ペアリングが優先されますが、通信範囲外であれば、それぞれのイヤホンは別々のBluetoothデバイスと接続して単独で使用することができます。

使いかた

リセットする

接続がうまくいかない場合や初期状態に戻したい場合は、以下の手順に従ってイヤホンをリセットしてください。

1. スマートフォンのBluetooth設定でデバイスを削除してからBluetoothをオフにしてください。
2. ケースから両方のイヤホンを取り出します。
3. 左右いずれかのイヤホンのタッチセンサーを素早く5回タップします。
 - 受付完了の際は信号音が聞こえます。
4. 両方のイヤホンのLEDランプが白く素早く点滅してから消えます。
5. 両方のイヤホンを一旦ケースに戻して、約2秒後にもう一度取り出します。
6. 再度ペアリングを行ってください。

電源を入れる

イヤホンの電源を入れるには2つの方法があります。

方法1: イヤホンが充電ケースに入っている場合は、取り出すと自動的に電源が入ります。

方法2: イヤホンが電源オフでBluetoothが未接続の状態ですら充電ケースの外にある場合はタッチセンサーを約5秒長押しすると「Power on (パワーオン)」と音声がかきこえて、電源がオンになります。電源がオフでもBluetoothが接続状態の場合は、一旦ケースの入れてからもう一度取り出すと電源がオンになります。

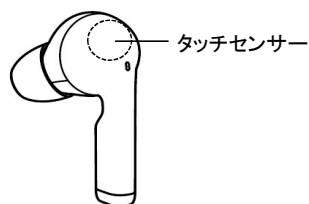
電源を切る

イヤホンをケースに収納してフタを閉めます。

着信応答

着信時にいずれかのイヤホンのタッチセンサーを1回タップすると着信に応答できます。

通話を終了する場合はタッチセンサーを1回タップします。



着信拒否

着信を拒否する場合は、着信時にいずれかのイヤホンのタッチセンサーを約2秒押しします。

音量調整

音楽再生中に右イヤホンのタッチセンサーを長押しすると音量がアップします。

音楽再生中に左イヤホンのタッチセンサーを長押しすると音量がダウンします。

使いかた

再生／一時停止

音楽再生中にいずれかのイヤホンのタッチセンサーを1回タップすると一時停止します。もう一度1回タップすると一時停止が解除されます。

曲送り

音楽再生中に右イヤホンのタッチセンサーを2回タップすると曲送りします。



曲戻り

音楽再生中に左イヤホンのタッチセンサーを2回タップすると曲戻りします。

音声アシスタント

左イヤホンのタッチセンサーを3回タップすると音声アシスタント(Siriなど)が立ち上がります。音声指示してください。音声指示せずにしばらく経過すると元のモードに戻ります。

ゲーミングモード

ゲーミングモードでは、動画視聴の際に発生する映像と音のズレが低減されるので、ストレスなくゲームや動画を楽しむことができます。

右イヤホンのタッチセンサーを3回タップすると、「Game mode on(ゲームモードオン)」と音声が入聞こえて、ゲーミングモードに切り替わります。

もう1度3回タップすると、「Game mode off(ゲームモードオフ)」と音声が入聞こえて通常モードに戻ります。

- ゲーミングモードでは、通信距離が通常モードより短くなります。
- ゲーミングモードの効果は、お使いの接続機器や使用環境によって影響を受けます。

その他の機能

- 音楽再生中にBluetooth通信可能範囲外に出て接続が切断されると、信号音が入聞こえます。5分以内に範囲内に戻ると信号音が入聞こえ、自動的にBluetooth接続を復旧します。スマートフォンの音楽再生をタップするかイヤホンのタッチセンサーを1回タップすると再生が再スタートします。

使いかた

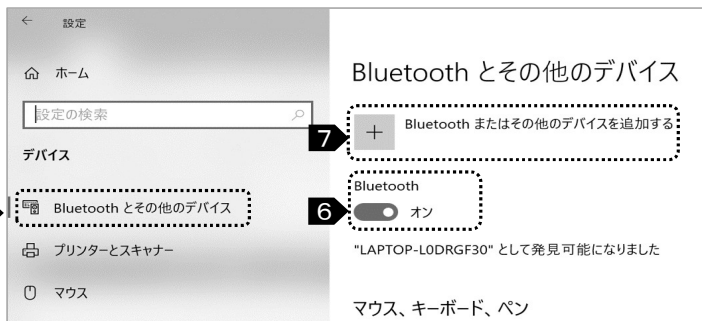
パソコンで使う

Windows 10の場合

1. ケースから両方のイヤホンを取り出すと、イヤホン同士が自動的にペアリングされます。
2. パソコン画面の左下のWindowsマークをクリックして、スタートメニューを立ち上げます。
3. 「設定」をクリックします。
4. 「デバイス」をクリックします。



5. 「Bluetoothとその他のデバイス」をクリックします。
6. Bluetoothがオンになっていることを確認してください。
7. 「Bluetoothまたはその他のデバイスを追加する」をクリックします。



8. 「デバイスを追加する」の画面が表示されるので、「Bluetooth」をクリックします。



使いかた

9. 「TWS T12P」をクリックします。

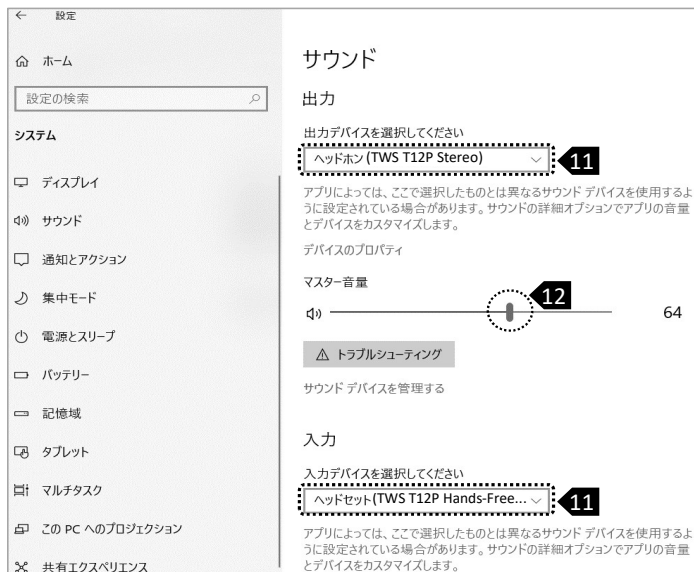


10. 接続が完了すると、パソコンに右の画面が表示されますので、「完了」をクリックしてください。

- 5分以内に接続を完了してください。
- 5分以上経過してしまった場合や接続がうまくいかなかった場合は、最初からやり直してください。
- 「TWS T12P」の下に「音声、音楽に接続済み」と表示されていることを確認してください。「音楽に接続済み」の場合はマイクが認識されていないので、接続をやり直してください。



- ## 11. 音が出ない場合は、パソコンのマイクおよびスピーカーの設定を調整します。
- パソコンの左下のスタートボタンから「設定」→「システム」→「サウンド」をクリックします。
- 出力と入力で「TWS T12P」を選択します。
- ## 12. 必要に応じてマスター音量をスライドさせて調整します。



使いかた

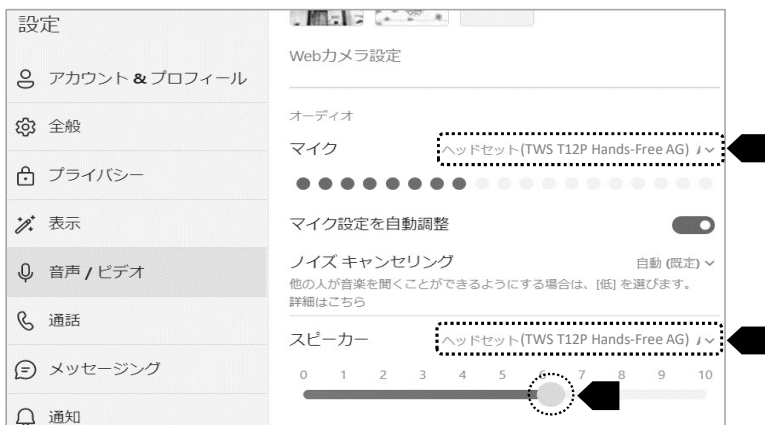
オンライン会議で使う

ビデオ通話やオンライン会議で使用する場合は、アプリ内のマイクやスピーカーの設定が必要になります。

- 使用するアプリによって設定方法が異なりますので、各アプリの使い方をよく確認してください。

Skypeの場合

「設定」→「音声/ビデオ」と選択して、マイクとスピーカーを「TWS T12P」に設定してください。必要に応じてスピーカーの音量をスライドさせて調整してください。



Google Meetの場合

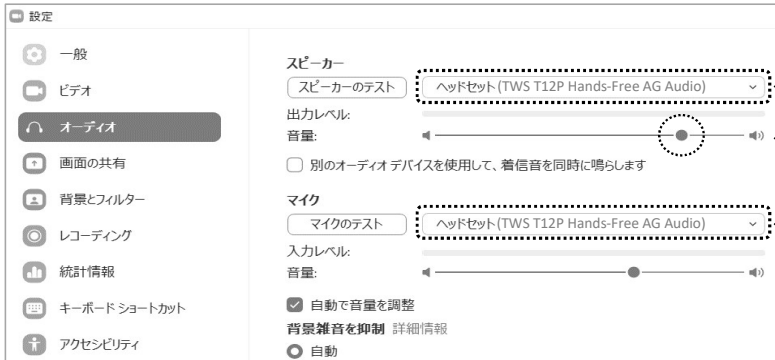
「設定」→「音声」と選択して、マイクとスピーカーを「TWS T12P」に設定してください。



使いかた

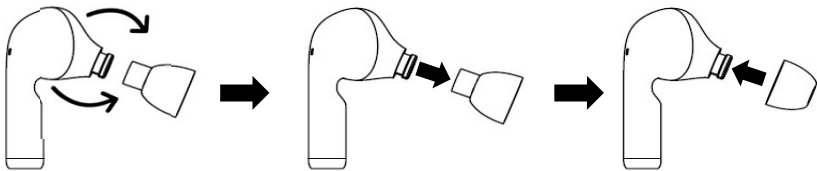
Zoomの場合

「設定」→「オーディオ」と選択して、マイクとスピーカーを「TWS T12P」に設定してください。
必要に応じてスピーカーの音量をスライドさせて調整してください。



イヤークャップの交換

- 本製品には3種類(S/M/L)のイヤークャップが付属しています。耳に合ったサイズを選んでご使用ください。最初に本体にはMサイズが装着されています。
- イヤークャップが確実に固定されていないと、使用中に外れて耳の中に残る場合があります。確実に固定されていることを確認してください。



お手入れ

イヤホン・ケース

汗や水が付着したままにしておくと、充電ができなくなる原因となりますので、ご使用後は速やかにふき取ってください。

- お手入れには、乾いた布か、水に浸した柔らかい布をよく絞りお使いください。
- シンナー、ベンジンなどの溶剤・洗剤を使用しないでください。
- 本製品を水や石けんで洗わないでください。
- ケースおよびイヤホンの充電端子(P.4)が汚れていると、充電できない場合があります。充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。
- 充電端子の汚れがひどい場合は、アルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

イヤークャップ

- イヤホンからキャップを外し、薄めた中性洗剤で手洗いしてください。洗浄後は、水気をよくふいてから取り付けてください。

本製品の防水性能について

イヤホン本体

本製品のイヤホン本体は、防水規格IPX6相当の仕様となっています。いかなる方向からの水の強い直接噴流によっても有害な影響を受けません。防水性能は永続的なものではなく、通常の使用によって防水性能が低下する場合があります。

- 完全防水ではありませんので、水中では使用しないでください
- 故意に流水を浴びせたり、水没させないでください。
- 本製品を水や石けんで洗わないでください。
- お風呂やシャワーでの使用は推奨していません。
- イヤホンについた汗、雨水、海水などをよくふき取ってください。
- お客様の誤った取り扱いにより水の侵入で故障した場合は保証対象外となります。

充電ケース・充電用ケーブル

本製品に付属する充電ケースおよび充電ケーブル類は防水仕様ではありません。

- 水がかかる恐れがある場所で使用しないでください。

故障かなと思ったら

電源が入らない

- イヤホンの電池残量が低下しています。ケースにセットして充電してください。
- ケースの電池残量がない場合は、イヤホンを入れた状態でケースを充電してください。

充電できない

- ケースおよびイヤホンの充電端子(P.4を参照)をご確認ください。
- 充電端子が汚れている場合、柔らかい布や綿棒、ブラシなどで取り除いてください。汚れがひどい場合はアルコール系のウェットティッシュで汚れを取り除き、乾いた布でふき取ってください。

Bluetoothデバイスとペアリングできない

- 接続するBluetoothデバイスが使用可能な状態であることを確認してください。
- 接続するBluetoothデバイスが本製品のプロファイルに対応しているか確認してください。
- Bluetoothデバイスの設定でBluetoothをオフにしてから再度オンする、または登録を削除してから、やり直してください。
- リセット(P.8「リセットする」を参照)してから、ペアリングをやり直してください。
- 本製品とBluetoothデバイスを近づけてからペアリングしてください。
- Bluetoothデバイスが他の機器とBluetooth接続している場合は解除してから、本製品とペアリングしてください。

ノイズやエコー音が入る

- Bluetoothデバイスとの間に障害物がないか確認してください。
- Bluetoothの通信範囲内(約10m)にあるか確認してください。
- 通信が干渉される可能性のある無線LANのそばで使用している場合は、無線LANをオフにするか、10m以上離れた場所で使用してください。

通話相手に自分の声が聞こえない

- スマートフォン、PC、タブレットがBluetooth機能を搭載し、HFP・HSPiに対応している必要があります。ご使用の接続機器やソフトの環境により、マイク入力を手動で設定する必要がありますので、それぞれの設定をご確認ください。また、対応しない場合がございますので、ご了承ください。ご使用できない場合は、有線イヤホンを推奨いたします。

リチウム電池のリサイクルについて



この製品にはリチウムイオン電池が使用されています。不要になりました電池は廃棄しないで充電式電池リサイクル協力店へお持ちください。希少資源を有効に活用するため、リサイクルにご協力ください。

詳細はこちらから



商品仕様

商品仕様は向上のため、予告なく変更する場合がありますので、あらかじめご了承ください。

| | | |
|---------------|---------------------|---|
| 商品仕様 | イヤホンタイプ | カナル型 |
| | イヤホン本体質量(片耳) | 約4.8g |
| | 使用温度範囲／湿度範囲 | 5～40℃ 20～80%(ただし結露なきこと) |
| ヘッドホン部 | ドライバー型式 | ダイナミック型 |
| | ドライバーサイズ | φ6mm |
| | 音圧感度 | 95dB |
| | インピーダンス | 16Ω |
| | 防水規格 | IPX6 |
| | 再生周波数帯域 | 20Hz～20kHz |
| マイクロホン部 | マイク感度 | -40dB |
| 通信仕様 | Bluetooth | Ver.5.3 |
| | 対応プロファイル | HFP, AVRCP, A2DP |
| | 対応コーデック | SBC, AAC |
| | 受信距離／送信出力 | 約10m／Class 2 |
| ヘッドホン部 その他 | イヤホン本体バッテリー量(片耳) | 43mAh |
| | 連続音楽再生時間(※1) | 約7時間 |
| | 連続通話時間(※1) | 約7時間 |
| | 連続待機時間(※2) | 約140時間 |
| 充電仕様 | 充電電圧 | DC5V |
| | イヤホン本体充電時間 | 充電ケースでの充電:約2時間 ※充電ケースが満充電の状態で、最大4回まで充電可能 |
| | 充電ケース充電時間 | 約2時間 |
| | 充電ケース内蔵バッテリー量 | 380mAh |
| | 充電ケースサイズ(W x D x H) | 64.0 x 52.5 x 28.5mm |
| | 充電ケース質量 | 約32g |
| | 充電ポート | Type-Cポート |

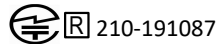
商品仕様

| | | |
|------|----------------|------------------------------|
| 機能一覧 | ゲーミングモード | ○ |
| | ノイズキャンセリング | DNS (Deep Noise Suppression) |
| | 音声アシスタント | Googleアシスタント/Siri |
| | ハンズフリー機能 | ○ |
| | オート電源オン | ○ |
| | 自動ペアリング | ○ |
| | 左右独立接続(左右独立使用) | ○ |
| 付属品 | イヤークャップ | S/M/L(Mサイズは本体に装着済み) |
| | 充電ケーブル | 充電用Type-Cケーブル(約0.3m) |
| | 取扱説明書兼保証書 | 保証期間6ヶ月 |

(※1)使用時間は50%音量の条件にて算出、接続するBluetooth機器との距離が長い場合など、消費電力が増加するために通話/再生時間が短くなる場合があります。

(※2)Bluetooth接続した状態で音楽再生や通話せずに、イヤホンケースの外に放置した場合の持続時間。

本製品は工事設計認証を受けています。



Bluetoothについて

- Bluetooth通信の通信範囲は約10mですが、障害物(人体、金属、壁など)や電波状態によって接続有効範囲は変動します。
- Bluetooth機器と無線LAN(IEEE802.11b/g)は同一周波数帯(2.4GHz)を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、接続速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合は、無線LAN機器の電源を切るか、10m以上離れた場所でご使用ください。
- Bluetooth対応製品の音楽・音声機器とマウス・キーボードなどを同時に接続した場合、音楽や音声が入り替わることがあります。
- 本製品はBluetooth対応のすべての機器との接続動作を保証するものではありません。
- 本製品は電波法に基づく技術基準に適合していますので、無線局の免許は不要です。ただし、本製品を分解・改造すると法律で罰せられることがあります。
- 無線技術の特性により送信側での音声・音楽再生に比べて本製品での再生が遅れるため、動画視聴時やゲームでのご使用の場合、映像と音声がずれる場合があります。
- 接続する機器によって、Bluetooth接続ができるまで時間がかかることがあります。